

平成31年度
(令和元年度)

神戸市立 岩岡幼稚園

学校評価報告書

基本政策	教育目標	重点目標 (努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	4点満点 評価	改善策	学校関係者評価でいただいた意見等
<p>明るく元気な子供 思いやりのある子供 自分の思いを素直に表現する子供</p>	<p>生き生きとした子供を育てる</p>	<p>人とかかわりを通して、心豊かな子供を育てる ～やってみよう！何でもチャレンジ！心と体を動かして～</p>	進んで挨拶をする	<ul style="list-style-type: none"> 目を見て、挨拶ができるよう朝の挨拶を教師や保護者が見本となるよう意識して行っていた。 自分から挨拶ができるように子供たちに話をしたり、自主的にしていることを認めたりしていった。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 来園者に挨拶をすることを恥ずかしかる子供もいるので、教師が見本となるように意識し、「挨拶をすると気持ちがいい」感覚が身につくようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人が気持ちよく挨拶をしているのを見て学んでいる子も多い。まずは身近な大人から挨拶をする気持ちよさを感じていけばよいのではないかと。
			基本的な生活習慣を身に着ける	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導や日々の取り組みの中で基本的な生活習慣の定着が出来てきている。 保護者会で保健指導の様子を伝え、家庭でも取り組んでもらえるようにした。 好きな遊びの片付けの時間をできるだけ全学年一緒にすることで、一人一人が頑張り、短時間で片付けられるようになってきた。 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 家庭によって差があるため、保護者会だけではなく、一人一人に声をかけていく必要がある。 片付けは年長児がリードしていけるよう、片付けの場所の設置や表示など環境を整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 園が家庭と連携を図り、長い目で見ながら、家庭での生活改善を図ってほしい。幼稚園のうちに改善できなかったことがあれば、小学校に引継ぎ、幼小が連携を図って家庭を見守っていくことも必要である。
			異年齢との交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びでは、全学年の時間をできるだけ合わせることで、異年齢とせんなかかわりをもって遊んでいる。教師同士が連携を図って保育を行い、他学年の幼児にも積極的にかかわっていくようにする。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 園外保育だけではなく、他の活動でもペア活動をもう少し計画的に行っていき、互恵性の関係を大切にしていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年保育というありがたい環境のなかで遊べていることが素晴らしい。
			自然とかかわりの充実	<ul style="list-style-type: none"> 3年間でいろいろな植栽を経験できるよう計画し、植え付けから収穫までを経験した。 いろいろな自然物や飼育動物の適切な環境を整えていき、かかわりを通して、命の大切さを感じていくことができた。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、植栽や自然物とのふれあいが経験できるよう、3年間を通した保育計画をたてていこう。 地域散策で園内では出会えない自然物と出会い、触れ合うことができる。来年度も引き続き散策も取り入れていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 困った時には地域の方々意見を頂くことで地域の力を幼稚園に生かすことができる。
			表現活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 様々な感動体験を身体や音楽、絵画、言語などで表現する楽しさを味わえるよう機会を多くつくった。 個々にはまだ自分を表現することが難しい幼児もいる。年齢、発達段階など様々な要因があると思うのでそれを探っていく。 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを素直に表現していくために、子供の思いをくみ取ってどう援助すればよいか、教師間で話し合ったり研修をしたりしながら、積極的に表現活動に取り組めるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の姿をしっかりと捉え、それぞれに合った援助をすることで子供たちが安心して自分を表現することができるので、引き続き、頑張ってもらいたい。
			体力づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 芝生のため裸足で遊ぶことも多く、せんと足裏を刺激したり、踏ん張ったりすることが出来た。 竹馬、縄跳び、マラソンなど季節に合わせて、継続して行うことで、体力が徐々に身についてきた。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 秋は芝生養生をするため、園庭使用不可の時の体力作りのための保育の構成をしっかりと考えていきたい。 来年度も近隣散策などでできるだけ歩く機会をつくれるよう、計画していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 岩岡公園を利用し、歩く経験を積んだり、公園内の自然を取り入れたりすることができたのは素晴らしい。地域に出向き、地域の方々に幼稚園の園児の元気な声を届けてくれることで地域の活性化にもつながる。
			道徳性、規範意識の芽生えを培う	<ul style="list-style-type: none"> 保育の中で教師同士が連携をとりながら、道徳性や規範意識の芽生えを培えるよう、かかわっていった。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 日々の会話で子供の様子について報告し合い、情報共有できていたので、今後も続けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携も必要になってくる。家庭での様子を聞きながら親子ともに道徳性や規範意識をもっていけるようにするために幼稚園の役割は大きい。
<p>安心・安全で楽しい学校を築き、地域と共に子供を支える</p>	<p>環境を通して行う教育の推進</p>	園内の環境の整備を行う	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で共通理解をしながら、園内の環境を見直し、子供たちが主体的に環境にかかわって遊ぶことが出来るよう整えていった。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの遊びを捉え、遊びから学びにつながっていくよう、今後も必要な環境を整えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの生活に合った環境づくりを今後も行ってほしい。 	
		園内研修会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 配慮を要する幼児への支援について特別支援教育課の指導を受けた。 子供と実際に体を動かしながら運動遊びの指導を受けた。そして研修の充実を図っていった。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な指導を受けることで、保育資質の向上につながった。今後も、苦手意識を持たず、意欲的に研修を受け、自分の保育にいかせるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な講師、専門機関の方々の意見を聞きながら保育の質を高めていくことができればよい。 	
		いじめ防止基本方針に基づきいじめ防止対策に関する取組(いじめ問題対策委員会等)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な立場の職員が子供の様子を見守り、気付いたことを伝え合いながら子供の育ちを見守っていった。 保護者と連携を図りながら、互いに思いを伝え合い、子供の育ちを見守るように意識した。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と共に子育てをしていく仲間と言う意識をもって保護者同士も互いに様々な子供の成長を温かく見守っていけるよう園からも発信していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳性や規範意識にもつながるが、これからは子供の心をしっかりと見ながら、温かい保育を展開して行って欲しい。 	